

## 社会の発展とともに

ジェイテクトグループは、企業理念をもとに事業を通じて社会的課題の解決に貢献し、持続可能な社会の実現を目指します。

### 企業行動規準

#### お客様、取引先様への責任

- 遵法精神に基づき、公正、透明、自由な競争ならびに適正な取引を行います。
- マーケットから発想し、最高の品質・技術・サービスを提供し、お客様の満足と信頼に応えます。

#### 株主様への責任

- 株主はもとより、広く社会とのコミュニケーションを図り、企業情報を公正に開示するとともに、継続的に企業価値の向上を図ります。

#### 従業員への責任

- 社員の人格と個性を尊重し、可能性と働きがいを大切に安全な職場を作り、一人ひとりの豊かさを実現します。

#### 地域社会、グローバル社会への貢献

- 「良き企業市民」として社会貢献活動を積極的に推進します。
- 国際ルール、各国各地域の法律・文化・慣習を尊重し、その発展に貢献します。
- 地球環境問題への取り組みは、企業の重要な使命のひとつであることを深く認識し、自主的・積極的に行います。

### グローバルコンダクト・ガイドライン

#### グローバルに事業活動を行う責任

ジェイテクトでは、グローバルに事業活動を行う企業として、社会的な責任を果たすべくグローバルコンダクト・ガイドラインを制定しています。国際情勢や社会環境の変化、社会からの企業への期待を適切に捉え、継続的に更新・見直しています。

#### グローバルコンダクト・ガイドラインの骨子

1. 法令、規則との関係
2. お客様、取引先様との関係
3. 会社との関係
4. 共に働く仲間たちとの関係
5. 社会一般との関係

※ 詳細は以下URLをご参照ください。  
<https://www.jtekt.co.jp/sustainability/csr/concept/>

### CSR推進

#### 全社各部門におけるCSR活動の実践

ジェイテクトでは、CSR活動を企業活動そのものと捉え、全社それぞれの部門において年度実施計画を作成しています。その上で方針管理に基づく月次のマネジメントにより、PDCAサイクル\*を回しています。このような目標達成に向けた仕組みにより、会社方針、事業・機能の方針を具体的な取り組みに落とし込み、着実にCSR活動を推進しています。

\* PDCAサイクル: 計画(Plan)、実行(Do)、評価(Check)、改善(Action)を繰り返すことで継続的に業務改善していく管理手法。

#### 各種専門ワーキンググループ

重要なテーマであるリスクマネジメント、社会貢献については、専門ワーキンググループを設けて、活動計画をそれぞれに立案・推進しています。

#### CSR推進体制の概要



### 主なESG\*1データ

#### モノづくりを通じた貢献

		単位	2016年度	2017年度	2018年度	
製品[連結]	製品によるCO <sub>2</sub> 削減貢献量*2	千t	762.2	761.0	816.0	
	製品群事例	千t	366.0	372.0	370.0	
	軸受(ベアリング)*4	千t	105.1	111.4	115.0	
研究開発[連結]	研究開発費*5の総額	億円	482	552	636	
研究開発[単独]	特許出願件数*6	件	652	543	614	
	特許取得件数*6	件	397	368	334	
品質[単独]	品質展示会来場者数(のべ)	人	11,110	—	9,237	
環境[連結]	地球温暖化防止	千t	771	784	807	
環境[単独]	地球温暖化防止	千t	227	227	217	
	生産におけるCO <sub>2</sub> 排出量	千t	771	784	807	
	内製生産高当たり生産量におけるCO <sub>2</sub> 排出量	t/億円	143.2	140.3	131.1	
	物流におけるCO <sub>2</sub> 排出量	千t	13.2	12.8	12.2	
	売上高当たり物流におけるCO <sub>2</sub> 排出量	t/億円	2.15	1.99	1.82	
	資源の有効利用	内製生産高当たり廃棄物量	t/億円	7.12	6.78	6.20
	売上高当たり梱包材使用量	t/億円	0.77	0.77	0.75	
内製生産高当たり水使用量	千m <sup>3</sup> /億円	1.48	1.43	1.35		
環境負荷物質の管理・低減	PRTR法対象物質排出・移動量	t	40	38	27.1	
環境異常件数		件	1	0	2	

#### 盤石な経営基盤の確立

従業員[連結]	海外の重要ポストに占める外国人比率	%	62.9	65.3	65.7	
従業員[単独]	従業員の自部門ビジョン理解度	%	60.2	67.1	68.0	
	女性従業員の割合	%	9.8	10.3	10.8	
	女性管理職の割合	基幹職	%	0.83	0.92	1.07
		主任	%	3.89	4.11	4.69
	障がい者雇用率	%	2.15	2.17	2.17	
	育児休業取得者	人	41	49	60	
	介護休業取得者	人	2	1	5	
	元気で生き生きとしている職場比率	%	55.7	55.3	21.4	
	ガバナンス[単独]	内部通報件数	件	45	50	49
	地域貢献[単独]	青少年育成人数	人	—	1,201	1,627
地域懇談会 実施拠点数		カ所	13	13	13	
地域清掃活動 総動員数		人	4,510	4,665	4,861	

※1 「Environment: 環境」「Social: 社会」「Governance: ガバナンス」の3つの頭文字をとったもの。企業が持続的に成長できるか否かを判断する指標として用いられる

※2 環境設計による製品の使用段階でのCO<sub>2</sub>削減量。グローバルで算出した量を単年で表記。2016年度より算出方法を一部変更している

※3 ジェイテクトが設計した製品の台数で算出しており、海外生産したものを含む

※4 単独 ※5 一般管理費および製造費用に含まれる研究開発費 ※6 過去分含め集計方法を見直している

#### 外部評価

環境・社会・ガバナンスの各分野における取り組みや情報開示が評価され、FTSE Russellが提供する「FTSE4Good Index Series」ならびに「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定されました。また、CDP\*7が行う企業調査においても、2018年度は気候変動がA-、ウォーターセキュリティはB-に評価されました。今後も、CSR活動を通じて、社会の持続的発展に貢献するとともに、持続的な企業の価値向上に努めます。



※7 CDP: 世界の機関投資家を代表して、企業に対し、気候変動、水、森林資源に関する情報開示を要求。企業からの回答をA~Dの8段階に評価して投資家に開示している非営利団体